

サイクルトレイン

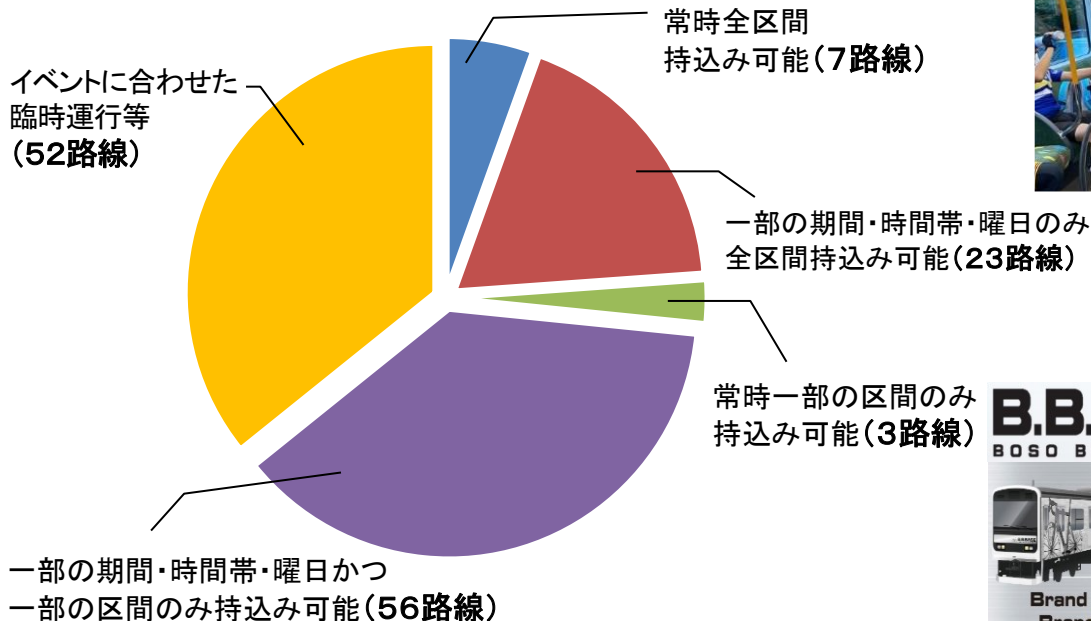
- 自転車の分解等を行わずにそのまま列車内に持ち込むことができる「サイクルトレイン」については、全国71社141路線で実施されている(2022年度実績)。
- 国としては、サイクルトレインの実施状況をフォローアップし、鉄道事業者に共有することを通じて、その普及を促進している。

【サイクルトレインの実施状況】

- 自転車の分解等を行わずにそのまま列車内に持ち込むことができる「サイクルトレイン」は、全国71社141路線で実施(2022年度実績)
- このうち約6割(82路線)は、特定の区間や時間帯で実施
- 約3割(52路線)が、イベントに合わせた臨時運行等で実施

- 各鉄道事業者は、路線毎の利用実態を踏まえ、
 - ・自転車持ち込みを認める曜日・時間帯・スペースの限定
 - ・自転車固定器具の車内への設置や駅員による乗降補助
 - ・マナー向上と相互理解の促進のため、車内アナウンスやポスター掲示などの実施
 - ・通年の運行ではなく、イベント開催に合わせた臨時運行などの対応をしている。

＜路線別の実施状況内訳＞



＜JR西日本＞

- きのくに線 和歌山～新宮駅間の普通電車と白浜～新宮駅間の特急くろしおで通年実施。
- 和歌山～御坊駅間は列車限定で完全予約制、御坊～新宮駅間はほぼ全ての列車で予約不要。
- 自転車の持ち込みは無料。



＜伊予鉄道＞

- 鉄道線で自転車の持ち込みが可能。
- 運行は土休日のみ(通年)。
- 自転車の持ち込み有料(300円)。

B.B.BASE
BOSO BICYCLE BASE



＜JR東日本＞

- 2018年1月から、房総エリアで、サイクルトレイン専用列車「B.B.BASE」(ビー・ビー・ベース)の運行を開始。
- 土休日を中心に両国駅から各方面への往復運転。
- 運行ルートは6種類(総武・成田・鹿島・外房・内房・久留里線)。